

TOKYO FMがFM FESTIVAL2011の開催を前に学生への緊急アンケートを実施！
FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」放送直前
学生 500 名への日本の未来に関する意識調査

日本を愛する若者が過半数

10年後の日本に対して、学生たちが成長を期待しているのは「技術力」、「医療環境」

学生と共に日本の将来を考える特別プログラムFM FESTIVAL2011として、2011年1月10日(月・祝)に三菱商事 presents FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」プレススペシャル(18:00～18:55)、2月11日(金)に三菱商事 presents FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」(16:00～18:00)の放送を行う TOKYO FM では、2010年12月24日(金)から、12月28日(火)までの5日間、500名の学生に対する緊急アンケートを実施。期間中に学生たちから寄せられた意見をまとめました。

調査結果サマリー

- 愛国心のあらわれ？ 8割が「日本を良い国だ」と思っており、9割以上が「日本人で良かった」と思っている
- 「海外で仕事をしてみたい」と考える学生は半数近く
- 学生の3割以上が「自殺を考えたことがある」
- 日本が戦争に巻き込まれたら？ 4分の3以上の若者が「逃げる」を選択
- 7割を超える学生が「10年後の自分は今より幸せになっていると思う」と回答する一方、半数以上の学生は「10年後の日本は今より悪くなっていると思う」と回答。また、7割以上が、「これから日本は悪くなる」と思っている
- 「10年後の日本」に対して成長を期待しているのは、「技術力」、「医療環境」、一方「悪くなる」と考えるのは、「政治」
- 約4割の学生たちが日本の景気後退に「自分たちの責任を感じている」
- 日本の景気を立ち直らせる事に「貢献できる」と考える学生は半数に満たない

調査参加者プロフィール

18歳～25歳までの学生 500名

<内訳>

- 性別 : 男性 250名(50.0%)、女性 250名(50.0%)
- 年齢 : 10代以下 106名(21.2%)、20代 394名(78.8%)
- 既婚未婚 : 未婚 492名(98.4%)、既婚 8名(1.6%)
- 居住地 : 北海道 15名(3.0%)、秋田県 3名(0.6%)、岩手県 3名(0.6%)、山形県 4名(0.8%)、宮城県 11名(2.2%)、福島県 3名(0.6%)、栃木県 7名(1.4%)、群馬県 2名(0.4%)、茨城県 12名(2.4%)、千葉県 17名(3.4%)、埼玉県 31名(6.2%)、東京都 84名(16.8%)、神奈川県 55名(11.0%)、静岡県 6名(1.2%)、長野県 6名(1.2%)、愛知県 29名(5.8%)、岐阜県 10名(2.0%)、新潟県 11名(2.2%)、富山県 6名(1.2%)、石川県 3名(0.6%)、福井県 2名(0.4%)、滋賀県 10名(2.0%)、京都府 20名(4.0%)、三重県 5名(1.0%)、和歌山県 4名(0.8%)、奈良県 9名(1.8%)、大阪府 34名(6.8%)、兵庫県 25名(5.0%)、鳥取県 3名(0.6%)、岡山県 9名(1.8%)、広島県 9名(1.8%)、山口県 4名(0.8%)、高知県 3名(0.6%)、徳島県 2名(0.4%)、愛媛県 4名(0.8%)、福岡県 21名(4.2%)、佐賀県 4名(0.8%)、長崎県 3名(0.6%)、熊本県 1名(0.2%)、宮崎県 4名(0.8%)、大分県 2名(0.4%)、鹿児島県 3名(0.6%)
- 職業 : 高校生 28名(5.6%)、大学生 388名(77.6%)、短大生 10名(2.0%)、大学院生 54名(10.8%)、専門学校生 20名(4.0%)

調査方法

2010年12月24日(金)から、12月28日(火)までの5日間、インターネット調査により寄せられた意見を集計。

- 番組に関するお問い合わせ TOKYO FM 編成制作局編成部(担当:唐島) TEL:03-3221-0080
- 今回の調査に関するお問い合わせ TOKYO FM 広報事務局(担当:桜井) TEL:03-3571-5326

調査概要

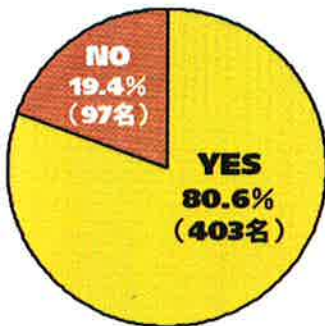
今回の調査で、18歳から25歳までの500名の学生にアンケートを行ったところ、80.6%が「日本を良い国だ」と思っており、93.6%が「日本人で良かった」と考えている事が明らかになりました。

一方、「海外で仕事をしてみたい」と考える学生は45.4%に上り、理由として「世界観が広がるから」という個人の向上を目指すポジティブな回答や「日本の将来性に期待できない」といったネガティブな意見まで様々な回答が寄せられました。

また、学生の35.2%が「自殺を考えたことがある」と回答。「日本が戦争に巻き込まれたら戦うか？逃げるか？」との問いに対しては、75.8%の学生が「逃げる」と回答しました。また、学生の70.4%は、「これから日本は悪くなる」と思っており、62.2%の学生は「10年後の日本は今より良くなっていると思わない」と回答し、特に「政治」については90.0%の学生が「悪くなっていると思う」と答えました。さらに日本の景気を立ち直らせる事に「貢献できる」と考える学生は46.6%に留まり、半数に満たない結果となり、39.0%の学生は日本の景気後退について「自分たちの責任を感じている」と回答しました。しかし、69.8%の学生が「10年後の自分は今より幸せになっていると思う」と回答しており、「10年後の日本」について、「技術力」(67.7%)、「医療環境」(57.1%)は良くなっていると回答しました。

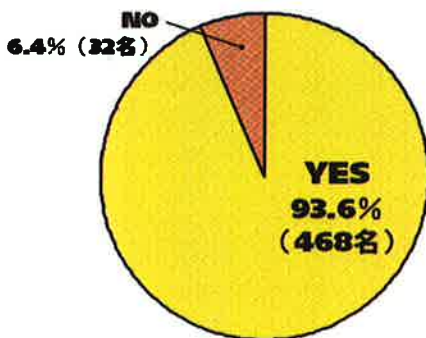
今回の調査の詳細は下記以降をご覧ください。

Q1. 日本という国を、良い国だと思いますか？（単回答）



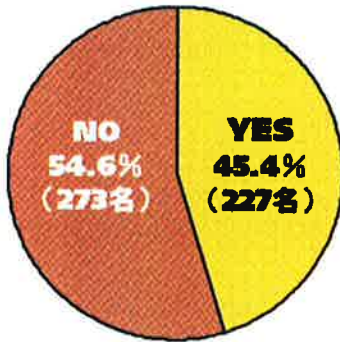
「日本を良い国かと思うか？」との問いに対し、学生の80.6%が「YES」、19.4%が「NO」と回答しました。男女比は、「YES」と回答した男性196名、女性207名に対し、「NO」と回答した男性54名、女性43名でした。

Q2. 日本人で良かったと思いますか？（単回答）



「日本人で良かったか？」との問に対し、学生の93.6%が「YES」と回答、「NO」と回答したのは僅か6.4%に留まりました。男女比は、「YES」と回答した男性234名、女性234名に対し、「NO」と回答した男性16名、女性16名でした。

Q3. 将来、海外で仕事をしてみたいと思いますか？（単回答）



学生に対し「将来、海外で仕事をしてみたいか？」との問いに対しては、45.4%の学生が「YES」と回答、「NO」と回答したのは54.6%で半数に近い学生が「将来、海外で仕事をしてみたい」と思っている結果が明らかになりました。男女比は、「YES」と回答した男性104名、女性123名、「NO」と回答した男性146名、女性127名という結果となり、若干女性の方が「海外で仕事をしてみたい」と思う傾向が強い結果となりました。また「海外で仕事をしてみたい」と思う学生、思わない学生それぞれの意見は下記の通りです。

Q3-a. 「海外で仕事をしてみたい」と思う学生の意見の一部を紹介（自由回答）

- ・ 日本と違う環境で仕事をするのは、日本に帰ってきてからも生かせる経験だと思う(24歳/女性/北海道)
- ・ いろいろな国のいろいろな考え方の人と、切磋琢磨して科学研究がしたい(23歳/女性/山形県)
- ・ 違う文化や国民性の人々とビジネスを通じて交わってみたいから(22歳/男性/宮城県)
- ・ 違う人や生活、文化などの違いを体感して価値観を広げたいから(22歳/男性/茨城県)
- ・ 自分自身の見聞を広げるため、日本の魅力を発信するため(22歳/女性/東京都)
- ・ 生きるフィールドは、世界中にあるから(23歳/男性/東京都)
- ・ 海外で、歌手として歌っていけたらなんともいいだろうと思う(21歳/女性/京都府)
- ・ 見聞を広くしたい(25歳/女性/大阪府)
- ・ 海外で働くことで日本に貢献したいと思うからです(19歳/長崎県/女性)

Q3-b. 「海外で仕事をしてみたい」と思わない学生の意見の一部を紹介（自由回答）

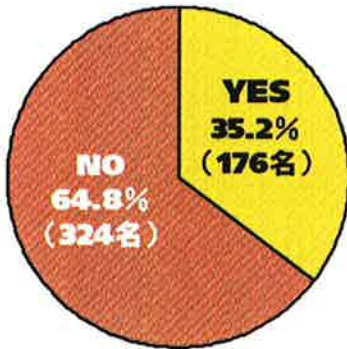
- ・ 日本が好きだから。海外に住みたいとは思わないから(22歳/女性/北海道)
- ・ 治安が悪そうだから(24歳/男性/岩手県)
- ・ 語学の勉強が苦手なので、旅行や取材はともかく長期滞在は考えられない(19歳/女性/宮城県)
- ・ コミュニケーションに自信がないから(22歳/男性/茨城県)
- ・ 海外が苦手なのが一番で、言葉も使えないし、特に興味もない(20歳/女性/東京都)
- ・ 日本が大好きだから外国のまずそうな飯なんて食ってられない(21歳/男性/東京都)
- ・ 日本で日本のために働きたい(19歳/男性/神奈川県)
- ・ 海外は、治安に不安があることと語学に不安があるため(20歳/男性/岐阜県)
- ・ 戦争とか、事件が多いし怖いから(23歳/女性/福岡県)

Q3-c. 国際社会で生きていく上で必要だと思うものは何ですか？（自由回答）

- ・ 語学力。英語はもちろん中国語や韓国語も今は必要かも(22歳/女性/北海道)
- ・ 英語力と相手の文化を受け入れる受容力(23歳/男性/宮城県)
- ・ 語学力とマネージメント能力(22歳/男性/栃木県)
- ・ 愛と平和(20歳/女性/茨城県)
- ・ 向こうの歴史を知ること(18歳/女性/千葉県)
- ・ 行動力や積極性、コミュニケーション能力などが必要なのではないかと思う(19歳/女性/東京都)
- ・ 他国にはまねできないような、日本独自のものを売り込み、それに特化していくこと(18歳/男性/東京都)
- ・ グローバルな視点と語学力(23歳/男性/東京都)
- ・ 英語力、異文化理解、自国の伝統の理解(20歳/男性/滋賀県)

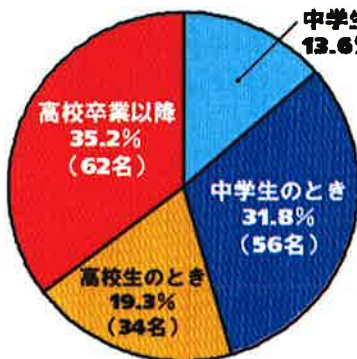
※Q3-a～Q3-cまでの回答は寄せられた意見のうち一部です。
詳細をご覧になりたい場合は広報事務局までお問い合わせ下さい。

Q4. 自殺を考えたことはありますか？（単回答）



学生に対し「これまでに自殺を考えた事があるか？」との問いに対しては、35.2%の学生が「YES」と回答する結果に。「NO」と回答したのは 64.8%でした。男女比は、「YES」と回答した男性 74 名に対し、女性 102 名と「自殺を考えた事がある」のは女性の方が多いという結果が明らかになりました。「NO」と回答した男女比は男性 176 名、女性 148 名でした。また、「自殺を考えた事がある」と回答した学生のうち、その「時期」については下記の通りの結果となりました。

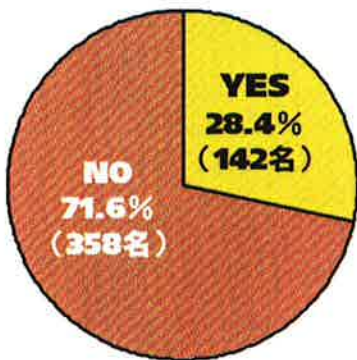
Q4-a. (Q4で「YES」と回答した方に対し、) 自殺を考えた時期はいつ頃ですか？（単回答）



中学生未満のとき
13.6% (24名)

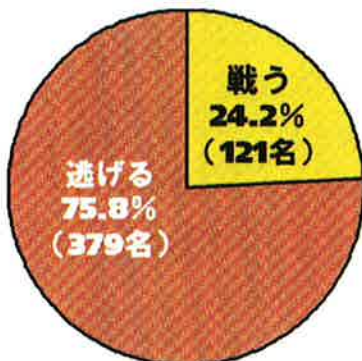
Q4で「自殺を考えたことがある」と回答した人への質問。「中学生未満のとき」と回答したのは 13.6%(24 名)、「中学生のとき」と回答したのは 31.8%(56 名)、「高校生のとき」と回答したのは 19.3%(34 名)、「高校卒業以降」と回答したのは 35.2%(62 名)でした。また男女比は、「中学生未満のとき」男性 11 名、女性 13 名、「中学生のとき」男性 21 名、女性 35 名、「高校生のとき」男性 12 名、女性 22 名、「高校卒業以降」男性 30 名、女性 32 名といずれも女性の割合が高い結果となりました。

Q5. 人を殺したいと思ったことはありますか？（単回答）



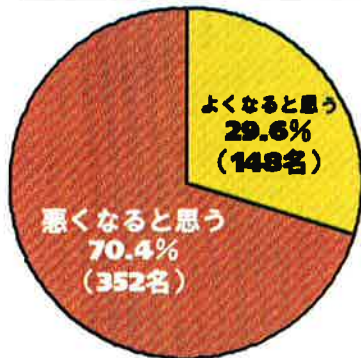
学生に対し「これまでに人を殺したいと思った事があるか？」との問いに対しては、28.4%の学生が「YES」と回答する結果に。「NO」と回答したのは 71.6%でした。男女比は、「YES」と回答した男性 77 名に対し、女性 65 名、「NO」と回答した男女比は男性 173 名、女性 185 名でした。

Q6. 日本が戦争に巻き込まれたら、戦いますか？逃げますか？（単回答）



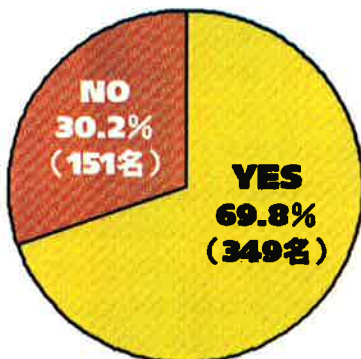
学生に対し「日本が戦争に巻き込まれたら、戦うか？逃げるか？」との問いに対しては、「戦う」と回答したのは 24.2%に留まり、回答者の約 4 分の 3 にあたる 75.8%の学生が「逃げる」と回答しました。男女比は、「YES」と回答した男性 92 名に対し、女性 29 名、「NO」と回答した男性 158 名、女性 221 名という結果となり、「戦う」と回答した男性は、男性 250 名からの回答中 36.8%、一方「戦う」と回答した女性は、女性 250 名からの回答中、11.6%という結果となりました。

Q7. これから日本はよくなると思いますか？悪くなると思いますか？（単回答）



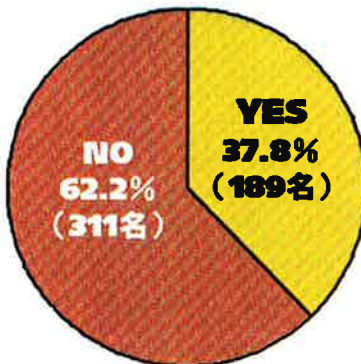
これからの日本に関する問いに対しては、「よくなると思う」と回答したのは29.6%、「悪くなる」と回答したのは70.4%でした。男女比は、「よくなると思う」と回答した男性75名に対し、女性73名。一方、「NO」と回答した男性175名、女性177名でした。

Q8. 10年後の自分自身は、今よりも幸せになっていると思いますか？（単回答）



10年後の学生自身の幸せに関する問いに対しては、「幸せになっていると思う」と回答したのは69.8%と過半数を超え、「幸せになっていない」と回答したのは30.2%でした。男女比は、「幸せになっていると思う」と回答した男性169名に対し、女性180名。一方、「幸せになっていない」と回答した男性81名、女性70名でした。

Q9. 10年後の日本は、今よりも良くなっていると思いますか？（単回答）



前問で10年後の学生自身の幸せを聞いたのに対し、「10年後の日本が良くなっているか」について聞いたところ、「YES」と回答したのは37.8%と過半数を割り、「NO」と回答したのは62.2%という結果でした。男女比は、「YES」と回答した男性92名に対し、女性97名。「NO」と回答した男性158名、女性153名でした。また「YES」と回答した学生の「日本が良くなっていると思うポイント」、「NO」と回答した学生の「日本が悪くなっていると思うポイント」は次頁の通りです。

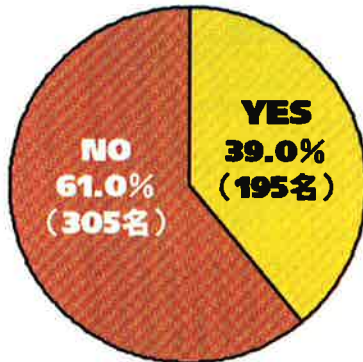
Q9-a. Q9で「YES」と回答した方、日本が良くなっていると思うポイントはどこですか？（複数回答）

	%	総計	男性	女性
景気	57.1%	108	57	51
政治	24.3%	46	21	25
就労環境	37.0%	70	28	42
住環境	23.8%	45	21	24
教育環境	30.7%	58	21	37
医療環境	57.1%	108	48	60
自然環境	15.3%	29	15	14
技術力	67.7%	128	70	58
人間関係	16.4%	31	12	19
その他	2.7%	5	3	2

Q9-b. Q9で「NO」と回答した方、日本が悪くなっていると思うポイントはどこですか？（複数回答）

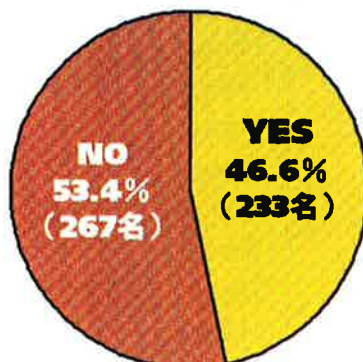
	%	総計	男性	女性
景気	66.9%	208	104	104
政治	90.0%	280	139	141
就労環境	59.5%	185	94	91
住環境	19.0%	59	28	31
教育環境	41.8%	130	69	61
医療環境	12.5%	39	19	20
自然環境	46.6%	145	63	82
技術力	17.4%	54	31	23
人間関係	33.1%	103	50	53
その他	3.2%	10	5	5

Q10. 日本の景気が悪いと言われ続けていますが、自分たちに責任はあると思いますか？（単回答）



日本の不景気が叫ばれる中、学生に対し、「自分自身が日本の不景気に関して責任があると思うか」聞いたところ、「YES」と回答したのは39.0%と4割近く。一方、「NO」と回答したのは61.0%という結果でした。男女比は、「YES」と回答した男性100名に対し、女性95名。「NO」と回答した男性150名、女性155名でした。

Q11. 日本の景気を立ち直らせる事に、将来自分自身は貢献できると思いますか？（単回答）



前問で約4割の学生が「自分自身が日本の不景気に関して責任があると思う」と回答しましたが、それでは「日本の景気を立ち直らせる事に、将来自分自身は貢献できると思うか？」聞いたところ、「YES」と回答したのは46.6%、「NO」と回答したのは53.4%という結果でした。男女比は、「YES」と回答した男性123名に対し、女性110名。「NO」と回答した男性127名、女性140名でした。

三菱商事 presents FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」について

未来の日本を担う世代の大学生。2011年以降は平成生まれの大学生が社会に出ることになります。90年代、ゼロ年代の所謂「失われた20年」の中で成長した若い世代にとって、現在は閉塞感に満ちています。ゆとり教育による学力低下が国内外で指弾され(※)、その中で表層的なハウツー本に導かれながらのぎりぎりの選択、「自分探し」ブームは本質的でないと疎まれ、経済の低迷による就職氷河期に直面して、今「行き場」を失っている若者がたくさんいます。



彼らは精神の支柱を求めています。表面的、皮相的な考え方や行動論理でなく、「未来への明るい希望」と「そこに至る羅針盤」を彷徨う若者たちは渴望しています。大学生を次世代のコアターゲットとし、こうした若者のニーズを掘り上げ、FMメディアならではのエンターテインメント手法で展開するスペシャルプログラムとして2011年1月10日(月・祝)に三菱商事 presents FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」プレススペシャル(18:00～18:55)、2月11日(金)に三菱商事 presents FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」(16:00～18:00)を放送します。

放送では、日本の10年後や人類・地球の行く末、人間の社会的な存在意義などの具体的なテーマのもとに、世界で活躍する先人や、知の巨人達を招いた特別授業を実施します。次世代を担う大学生をはじめとする若い世代を触発して、彼らを元気付け、未来への希望を語りかける授業となります。

※OECD生徒の学習到達度調査で、2007年に発表された2006年度日本人被験者は、小学6年生からゆとり教育を受けている世代として結果が目された。読解力は2003年調査時に比べて、41か国中14位→56か国中15位へ、数学的リテラシーは41か国中6位→56か国中10位へ、科学的リテラシーは41か国中2位→56か国中6位へと全分野で順位を下げる結果となった。

■ 三菱商事 presents FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」プレススペシャル

放送日時： 2011年1月10日(月・祝)18:00～18:55

特別講師： 山本寛斎(ファッションデザイナー、イベントプロデューサー)
土屋アンナ(ファッションモデル、歌手)

日本を代表するファッションデザイナー、イベントプロデューサー、山本寛斎とファッションモデル、女優、歌手として幅広く活躍する土屋アンナが講師として登場。超個性派・超個性派の二人が自身の活動と思想をスタジオに集まった学生に対して「日本を元気に！」をテーマに閉塞感が漂う日本の未来を元気にする活力ある講義です！



■ 三菱商事 presents FM FESTIVAL2011「未来授業～明日の日本人たちへ～」

放送日時： 2011年2月11日(金)16:00～18:00

特別講師： 姜尚中(東京大学教授)、養老孟司(北里大学教授、東京大学名誉教授)、北野大(明治大学理工学部教授)

三人の知の巨人を招き、下記のテーマで集まった現役大学生に対する特別授業を実施します。

[未来授業Ⅰ 国際政治学] 講師:姜尚中

テーマ:「10年後君たちは日本人でなくなるかもしれない。グローバリゼーションの功罪」

[未来授業Ⅱ 脳科学・身体論] 講師:養老孟司

テーマ:「『バカも壁』2011年版最新講義。意識が世界の全てではない」

[未来授業Ⅲ 環境学] 講師:北野大

「環境とは人間なり! もったいないとやせがまんの哲学～心の豊かさの時代」

- 番組に関するお問い合わせ TOKYO FM 編成制作局編成部(担当:唐島) TEL:03-3221-0080
- 今回の調査に関するお問い合わせ TOKYO FM 広報事務局(担当:桜井) TEL:03-3571-5326